



秘密のエクスタシー
一番好きなものは美しい死体

K I S S E D



キスト

1996年トロント国際映画祭審査員特別賞受賞作品
1997年カンヌ国際映画祭監督週間出品作品

レクショア・エンターテインメント提供
ボーンヤード・フィルム・カンパニー・プロダクション
共同製作・フジテレビ・コロムビア・フィルム・キスト
モリー・バーカー ヒーター・アウター・リッジ ジェイ・ブラザー
キリスト・クウェンティン・オプライン・リア・ウィングストン
サウンド・デザイン・ブライアン・スミス・サン・ライオン
オリジナルスコア作曲・トマ・マクナルト
オリジナル・サントラ録音・SLCレコード
プロダクション・デザイン・エリック・マクナブ
©1996 BONEYARD PRODUCTIONS



編集・ジョン・ホーザー
ヒーター・ロエック&リン・ストップクウィッチ
撮影監督・グレゴリー・ミルマン
アシエント・プロデューサー・ジェンカ・フレイザー
原作・バーバラ・カウディ
脚本・アンガス・フレイザー&リン・ストップクウィッチ
製作総指揮・ジョン・ホーザー
プロデューサー・ティーン・イングリッシュ&リン・ストップクウィッチ
監製・リン・ストップクウィッチ
配給・日本ヘラルド映画

キスト

KISSED

A Film by Lynne Stopkewich



1996年、第20回トロント国際映画祭で審査員特別賞を受賞し、1997年、第50回カンヌ国際映画祭監督週間上映され、観客をあっと言わせ、マスコミ各紙から絶賛された衝撃作「キスト (KISSED)」。

ネクロフィリア(屍体愛)というセンセーショナルなモチーフを扱いながら感性豊かなファンタジーに仕上げたカナダの新人女性監督リン・ストップケウィッチの意欲作である。

幼い頃から生き物の死に魅せられてきた少女サンドラ。彼女は、成長後、念願かかって葬儀場の防腐処理係となり、常に死体と隣り合わせの環境を得る。そんな彼女に恋をした医学生マットは、死者たちを永遠の恋人とするサンドラを何とか勝ち取ろうと努力を重ねる。が、「生」ある彼には、それが不可能である事を悟っていく…。

死体から発する崇高な美しさに魅せられた彼女が行う秘密の儀式を通して、語られていく愛、性、死。それは、死

体こそがこの世で最も美しいとする究極の死生感とともに、死体しか愛せない一人の女性の極限の愛を、生を超えた魂の根源的テーマでファンタジックに描いていく。

女性作家バーバラ・カウディの超問題作「We So Seldom Look On Love」を映画化した本作品。リン・ストップケウィッチ監督は、アビッド・クローネンバーグ、アトム・エゴヤンなど、カナダが生んだ有望なフィルムメイカーのひとりであり、彼女の斬新な感性は世界中から最大の注目を集めている。彼女は、この原作を映画化するにいたり「どこにでもいる普通の女の子が自らの異常な性的指向を悪びれず語りながら、それが最後まで読者が興味と共感を覚えつつけるような、そのコントラストに強く惹かれた…」と語っている。



▲監督リン・ストップケウィッチ

透き通るような繊細な存在感を発揮した主演のモリー・パーカー(「愛と勇気の翼」)はこの一作で一躍、国際的脚光を浴び、また彼女を愛し衝撃的な行動に走るマット役のピーター・アウターブリッジ(「クール・ランニング」)も、この作品で大いに注目を集めている。



●『セックスとロマンスと死についての驚くほどいとおしい、詩的で刺激的なラヴストーリー』(ヴァラエティ紙) ●『童話のような幻想的雰囲気にもちている』(ニューヨーク・タイムズ紙) ●『リリカルな優しい眼差しで撮られた傑作』(ローリング・ストーン誌) …。



……わたしは言い知れぬ美を感じる。エロスをを感じる。それは精神分析してみれば、多少ネクロフィリア(屍体愛)的な感覚に通じるのではないか、とも思っている。

(滝澤龍彦「少女コレクション序説」中公文庫より)

・名作単館ロードショー

日本橋一丁目交差点北東角・北陸銀行東隣り

国名小劇
にほんいちビルB1 ☎213-9229

地下鉄・阪急・天神橋6丁目下車・6号出口すぐ・シネ5ビル

奏ホクテンザ2
☎351-2833

・上映途中のご入場は出来るだけご遠慮下さい。

昼の部	1	2	3	4	5	6
	10:00	11:40	13:20	15:00	16:40	18:20
夜の部	7	8	9	10	11	12
	20:00	21:40	23:20	1:00	2:40	4:20

終了5:39

	1	2	3	4	5	6
	11:00	12:35	2:10	3:45	5:20	6:55
	7	8	9	10	11	12
	8:30	10:05	11:40	1:15	2:50	4:25

終了5:50

10月3(土)日 → 16(金)日開